

令和元年度 補助金の見直し

令和2年3月
別府市企画部財政課

令和元年度 補助金の見直しについて

1 目的

第4次別府市行政改革推進計画に基づき、補助金等の公益性、公平性、必要性及び効果を検証して見直しを行い、当該見直した結果を予算に反映させる。

2 見直しの対象

令和元年度予算に計上されている義務的なものを除く133の補助金等

3 見直しの手順

(1) 自己評価

各担当課において、継続、改善、縮小、廃止の評価

(2) ヒアリング

財政課において、各担当課から自己評価の内容などをヒアリング

(3) 最終評価

財政課において、自己評価やヒアリングの内容を踏まえて評価

(4) 予算に反映

最終評価の内容を次年度予算に反映

4 評価方法

別府市補助金等交付指針等により、次の4つの区分で評価

継続：指針の交付基準を満たしているものなど

改善：何らかの改善が必要なものなど

縮小：補助対象経費の変動等により、補助金の減額が適当と判断されるものなど

廃止：指針に沿っていないものなど

5 最終評価

(単位：千円)

評価区分	件数	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	増減額
継続	100	356,357	393,373	37,016
改善	24	190,925	192,241	1,316
縮小	6	70,804	67,302	▲ 3,502
廃止	3	75,460	0	▲ 75,460
合計	133	693,546	652,916	▲ 40,630

令和元年度 補助金の見直し 一覧表

No.	部名	課名	補助金名称	最終評価	頁
1	総務部	職員課	自主研修助成金	縮小	5
2	企画部	総合政策課	別府市生活バス路線維持費補助金	改善	5
3	観光戦略部	観光課	別府駅等案内所運営費補助金	改善	5
4	観光戦略部	観光課	別府市観光協会運営費補助金	改善	6
5	観光戦略部	観光課	誘客推進事業費補助金	改善	6
6	観光戦略部	観光課	ボランティアガイド育成事業費補助金	改善	6
7	観光戦略部	観光課	別府八湯温泉まつり事業費補助金	継続	7
8	観光戦略部	観光課	べっふ鶴見岳一気登山事業費補助金	継続	7
9	観光戦略部	観光課	べっふ火の海まつり事業費補助金	継続	7
10	観光戦略部	観光課	クリスマスファンタジア事業費補助金	継続	8
11	観光戦略部	観光課	油屋熊八翁顕彰会事業費補助金	改善	8
12	観光戦略部	観光課	別府市旅館ホテル組合連合会運営費補助金	継続	8
13	観光戦略部	観光課	大会開催等補助金	廃止	9
14	観光戦略部	観光課	別府市コンベンション振興協議会補助金	改善	9
15	観光戦略部	温泉課	温泉建設等補助金	継続	9
16	観光戦略部	文化国際課	外国人留学生地域活動等助成金	継続	10
17	観光戦略部	文化国際課	海外留学奨励金	継続	10
18	観光戦略部	文化国際課	市美展補助金	継続	10
19	観光戦略部	文化国際課	別府市民フィルハーモニア管弦楽団事業費補助金	継続	11
20	観光戦略部	文化国際課	文化活動育成補助金	継続	11
21	観光戦略部	文化国際課	音泉タウン実行委員会補助金	継続	11
22	観光戦略部	産業政策課	オフィス系企業誘致促進補助金	継続	12
23	経済産業部	産業政策課	シルバー人材センター運営費補助金	継続	12
24	経済産業部	産業政策課	別府杵築速見国東地区労働者福祉協議会補助金	継続	12
25	経済産業部	産業政策課	温泉コンシェルジュ人材育成支援事業費補助金	改善	13
26	経済産業部	産業政策課	勤労者福祉サービスセンター運営費補助金	継続	13
27	経済産業部	産業政策課	創業支援事業補助金	継続	13
28	経済産業部	産業政策課	別府竹細工ブランド化推進事業費補助金	継続	14
29	経済産業部	産業政策課	商店街振興事業費補助金	継続	14
30	経済産業部	産業政策課	商店街イベント補助金	継続	14
31	経済産業部	産業政策課	商店街街路灯電気料補助金	継続	15
32	経済産業部	産業政策課	大分県中小企業団体中央会補助金	継続	15
33	経済産業部	産業政策課	別府商工会議所補助金	改善	15
34	経済産業部	産業政策課	別府たばこ販売協同組合補助金	継続	16
35	経済産業部	産業政策課	竹・ルネサンス事業負担金	改善	16
36	経済産業部	産業政策課	小規模企業経営改善普及事業費補助金	継続	16
37	経済産業部	産業政策課	伝統的工芸品産業支援事業費補助金	継続	17
38	経済産業部	産業政策課	買受人組合研修費補助金	廃止	17
39	経済産業部	農林水産課	有害鳥獣被害防止対策事業費補助金	継続	17
40	経済産業部	農林水産課	機構集積支援事業費補助金	継続	18
41	経済産業部	農林水産課	別府市農業担い手組織活動補助金	継続	18
42	経済産業部	農林水産課	経営所得安定対策等推進事業費補助金	継続	18
43	経済産業部	農林水産課	別府市鳥獣害対策協議会補助金	継続	19
44	経済産業部	農林水産課	大分県農林水産祭(農業部門)開催補助金	継続	19
45	経済産業部	農林水産課	別府市園芸組合連合会補助金	改善	19
46	経済産業部	農林水産課	別府日出和牛協議会補助金	継続	20
47	経済産業部	農林水産課	大分県畜産共進会開催補助金	継続	20
48	経済産業部	農林水産課	低コスト簡易作業路緊急整備事業費補助金	継続	20
49	経済産業部	農林水産課	大分県農林水産祭(林業部門)開催補助金	継続	21
50	経済産業部	農林水産課	椎茸種駒購入費助成事業費補助金	継続	21

令和元年度 補助金の見直し 一覧表

No.	部名	課名	補助金名称	最終評価	頁
51	経済産業部	農林水産課	特用林産振興事業費補助金	継続	21
52	経済産業部	農林水産課	森林環境保全直接支援事業費補助金	継続	22
53	経済産業部	農林水産課	漁業振興費補助金	継続	22
54	経済産業部	農林水産課	大分県漁業協同組合青年部別府支部活動補助金	継続	22
55	経済産業部	農林水産課	栽培漁業推進事業費補助金	継続	23
56	経済産業部	農林水産課	大分県農林水産祭(水産部門)開催補助金	継続	23
57	公営事業部	公営競技事務所	周辺対策事業補助金	継続	23
58	公営事業部	公営競技事務所	選手会等助成金	継続	24
59	生活環境部	人権同和教育啓発課	全日本同和会県連合会別府支部補助金	縮小	24
60	生活環境部	人権同和教育啓発課	部落解放同盟県連合会別府支部補助金	縮小	24
61	生活環境部	人権同和教育啓発課	別府市人権問題啓発推進協議会補助金	継続	25
62	生活環境部	人権同和教育啓発課	大分人権擁護委員協議会補助金	継続	25
63	生活環境部	人権同和教育啓発課	別府市人権・同和教育研究会補助金	継続	25
64	生活環境部	環境課	保護樹維持助成金	継続	26
65	生活環境部	環境課	飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成金	継続	26
66	生活環境部	環境課	資源回収奨励補助金	継続	26
67	生活環境部	環境課	別府市美しいまちづくり奨励事業補助金	継続	27
68	生活環境部	保険年金課	はり・きゅう・マッサージ施術費補助金(後期高齢者医療)	改善	27
69	生活環境部	保険年金課	はり・きゅう・マッサージ施術費補助金(国民健康保険事業)	改善	27
70	福祉共生部	福祉政策課	社会福祉協議会補助金	継続	28
71	福祉共生部	福祉政策課	別府区保護司会補助金	継続	28
72	福祉共生部	福祉政策課	北部コミュニティセンター運営費補助金	継続	28
73	福祉共生部	福祉政策課	大分県原爆被害者団体協議会補助金	継続	29
74	福祉共生部	障害福祉課	聴覚障害者用ファクシミリ貸与助成金	縮小	29
75	福祉共生部	障害福祉課	福祉ホーム事業補助金	継続	29
76	福祉共生部	障害福祉課	別府市身体障害者福祉団体協議会運営費補助金	改善	30
77	福祉共生部	障害福祉課	福祉バス研修事業補助金	改善	30
78	福祉共生部	障害福祉課	難聴児補聴器購入費等助成金	継続	30
79	福祉共生部	子育て支援課	認可外保育施設助成金	継続	31
80	福祉共生部	子育て支援課	クーポン事業助成金	継続	31
81	福祉共生部	子育て支援課	放課後児童クラブ保護者負担金補助金	継続	31
82	福祉共生部	子育て支援課	障害児保育促進対策事業等補助金	継続	32
83	福祉共生部	子育て支援課	延長保育事業補助金	継続	32
84	福祉共生部	子育て支援課	一時保育促進事業補助金	継続	32
85	福祉共生部	高齢者福祉課	地区敬老会交付金	改善	33
86	福祉共生部	高齢者福祉課	敬老祝金交付金	縮小	33
87	福祉共生部	高齢者福祉課	別府市老人クラブ連合会活動費補助金	改善	33
88	福祉共生部	高齢者福祉課	別府市老人クラブ連合会事業費補助金	改善	34
89	福祉共生部	高齢者福祉課	別府市単位老人クラブ補助金	改善	34
90	福祉共生部	高齢者福祉課	社会福祉法人利用者負担軽減助成金	継続	34
91	福祉共生部	高齢者福祉課	回数券購入費助成金	継続	35
92	いきいき健幸部	健康づくり推進課	不妊治療費助成金	継続	35
93	いきいき健幸部	健康づくり推進課	骨髄移植ドナー等支援事業助成金	継続	35
94	いきいき健幸部	健康づくり推進課	別府地域保健委員会補助金	継続	36
95	建設部	建築指導課	木造住宅耐震診断補助金	継続	36
96	建設部	建築指導課	老朽空き家除却補助金	継続	36
97	建設部	建築指導課	木造住宅耐震改修等補助金	継続	37
98	建設部	建築指導課	アスベスト調査補助金	縮小	37
99	共創戦略室	自治振興課	ひとまもり・まちまもり自治区事業費補助金	継続	37
100	共創戦略室	自治振興課	山の納涼音頭大会補助金	継続	38

令和元年度 補助金の見直し 一覧表

No.	部名	課名	補助金名称	最終評価	頁
101	共創戦略室	自治振興課	浜脇薬師祭り補助金	継続	38
102	共創戦略室	自治振興課	鉄輪湯あみ祭り補助金	継続	38
103	共創戦略室	自治振興課	自治委員活動費助成金	継続	39
104	共創戦略室	自治振興課	自治委員地区運営費助成金	継続	39
105	共創戦略室	自治振興課	自治委員会運営費助成金	継続	39
106	共創戦略室	防災危機管理課	別府市交通安全指導員会補助金	継続	40
107	共創戦略室	防災危機管理課	別府市交通安全対策協議会補助金	継続	40
108	共創戦略室	防災危機管理課	大分県交通安全協会別府支部補助金	継続	40
109	共創戦略室	防災危機管理課	別府市暴力絶滅対策協議会補助金	改善	41
110	共創戦略室	防災危機管理課	別府市防犯協会連合会補助金	継続	41
111	共創戦略室	防災危機管理課	市連合防災協議会育成助成金	継続	41
112	共創戦略室	防災危機管理課	自主防災連携活動補助金	改善	42
113	教育委員会	教育政策課	私立幼稚園運営費補助金	継続	42
114	教育委員会	教育政策課	私立高等学校振興助成金	継続	42
115	教育委員会	学校教育課	私立幼稚園就園奨励費補助金	廃止	43
116	教育委員会	学校教育課	遠距離通学児童通学費補助金	継続	43
117	教育委員会	学校教育課	遠距離通学生徒通学費補助金	継続	43
118	教育委員会	社会教育課	町内公民館事業費補助金	改善	44
119	教育委員会	社会教育課	町内公民館連合会補助金	改善	44
120	教育委員会	社会教育課	東山地区公民館事業費補助金	継続	44
121	教育委員会	社会教育課	別府市子ども会育成会連合会事業補助金	継続	45
122	教育委員会	社会教育課	別府市PTA連合会事業補助金	継続	45
123	教育委員会	社会教育課	別府市地域婦人団体連合会事業補助金	継続	45
124	教育委員会	社会教育課	文化財整備補助金	継続	46
125	教育委員会	スポーツ健康課	別府市学校保健会補助金	継続	46
126	教育委員会	スポーツ健康課	別府市中学校体育連盟補助金	改善	46
127	教育委員会	スポーツ健康課	別府市体育協会補助金	継続	47
128	教育委員会	スポーツ健康課	県民体育大会出場費補助金	継続	47
129	教育委員会	スポーツ健康課	地区体育協会補助金	継続	47
130	教育委員会	スポーツ健康課	スポーツ振興費補助金	継続	48
131	教育委員会	スポーツ健康課	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会補助金	継続	48
132	消防	消防本部	別府市少年婦人防火委員会補助金	継続	48
133	消防	消防本部	大型自動車等免許取得助成金	継続	49

令和元年度 補助金の見直し

No.	1	部名	総務部	課名	職員課
補助金名称	自主研修助成金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	150		180		△ 30
自己評価	自己評価の内容				
継続	要綱にて、各種資格取得に要した経費の2分の1(ただし上限は3万円)を該当職員に助成している。複雑化する職務に対し、職員の自己啓発意欲及び資質を高めることは必要不可欠であり、本助成を継続して行うことにより今後もより一層の職員の能力向上が期待できる。				
最終評価	最終評価の内容				
縮小	H17年度から開始され、10年超の長期間継続実施してきたが、目標とする効果との検証ができていない。現状では活用する職員が一部であり、制度開始から長期間が経過し、社会経済情勢も大幅に変化していることから、効果を検証して時代に沿った新たな制度に再構築されたい				
No.	2	部名	企画部	課名	総合政策課
補助金名称	別府市生活バス路線維持費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	14,381		11,988		2,393
自己評価	自己評価の内容				
継続	要綱に定めている2路線(内成線・仙人田線)の欠損額に対して補助を行っている。廃止路線となりかねない状況であるが、地域住民にとって貴重な交通手段であり、路線存続のためには補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	交通不便地域にとって不可欠な交通手段であり、公益性が高く維持が必要と考えられるが、近年に補助事業者からの要望により、補助限度額の撤廃、補助率の引き上げなどにより、補助金額が拡大傾向にあることから、必要最小限の補助となるよう補助事業者に対して運行の効率化を促すなど、対象路線における採算性の向上を図るとともに、より住民の利便性向上につながる効率的な代替手段についても検討されたい				
No.	3	部名	観光戦略部	課名	観光課
補助金名称	別府駅等案内所運営費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	10,265		10,265		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	観光客の旅の拠点である別府駅構内において観光案内を行っており、年間で11万人以上が利用する施設であるため、継続して補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	チケット販売、宿泊斡旋、物品販売など自主事業を行っているが、運営費に占める自主財源の割合が1%未満と低く、当初の見込みを大幅に割っている。補助事業者の自立運営に向け、自主財源の確保を促すとともに、財務状況をはじめとして運営実態を把握・分析し、運営の効率化を促されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	4	部名	観光戦略部	課名	観光課
補助金名称	別府市観光協会運営費補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	24,600		24,600		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	本市における大きなイベントのほとんどの事務を担う組織であり、関係民間団体とのパイプ役としても機能している。市の観光政策にも柔軟な対応ができる団体であるため、継続して補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	自主財源の確保や支出の効率化など収支構造の改善により補助事業者が自立した組織体制を確立できるよう促すとともに、補助金の目的や効果に応じた必要最小限の補助金額を積算し、適切に執行されたい。また平成30年度決算において1割程度の繰越金が発生しており、繰越金が発生する場合は補助金の減額あるいは返還を求めるなどの対応を求める。				
No.	5	部名	観光戦略部	課名	観光課
補助金名称	誘客推進事業費補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	14,810		14,695		115
自己評価	自己評価の内容				
継続	令和元年度予算において補助金と事業の見直しを行い、すでに補助額が前年の半額以下となっているため、継続して補助したい。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	様々な団体等が観光施策に関連して、それぞれの目的あるいは役割分担に応じた費用の支出を行っているが、年度によって施策が異なるように、補助対象とする団体等の事業計画も異なる。そのため、補助事業者の事業計画に応じ、補助金の見直しが必要であり、事業計画をもとに期待する補助効果、補助対象とする経費を明確にし、必要最小限の補助金額を見積り適切に執行されたい。また事業完了後、余剰金が生じた場合は、返還を求める対応を求める。				
No.	6	部名	観光戦略部	課名	観光課
補助金名称	ボランティアガイド育成事業費補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	900		900		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	昨今の街歩きガイドツアー人気に伴い、街歩き団体との連携やボランティアガイドの養成・育成は今後も必要不可欠であるため、継続して補助したい。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	補助事業の長期化に伴い、当初「観光ボランティア育成費」から「街歩きガイドの運営費」に補助の重点が遷移し、目的が曖昧となっている。現状の事業実態を踏まえ、補助する目的を確認し、補助対象とする経費の見直しをされたい。また事業完了後、余剰金が生じた場合は、返還を求める対応を求める。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	7	部名	観光戦略部	課名	観光課
補助金名称	別府八湯温泉まつり事業費補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	18,537		15,237		3,300
自己評価	自己評価の内容				
継続	本市の最重要観光資源である温泉にまつわるイベントであり、100年以上もの歴史がある祭りであるため、温泉文化保護の観点等も考慮し、継続して補助したい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	別府市を代表するまつりとして定着しているが、数年にわたり補助金額が固定化されている。補助金額の見積りにあたっては、実効性のある事業計画に基づき、事業の効果と必要性を評価して積算すること。また、支出の効率化により補助金額の縮減を図るとともに、事業費に対する補助であるが、天候不順等による実施予定事業の延期に要する経費の増加も想定されるため、繰越金が発生する場合については、事業の継続性を勘案し、その額の妥当性について検討されたい。				
No.	8	部名	観光戦略部	課名	観光課
補助金名称	べっふ鶴見岳一気登山事業費補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	450		450		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	補助の額・割合に対し、イベント効果や人気が高いイベントであるため、継続して補助したい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	イベントとして定着し、参加者も増加傾向にあり、自主財源の増収も図られている。そのため、事業費に対する補助金の割合も低下していることから、事業計画をもとに必要性を精査し、必要最低限の補助金額を積算されたい。				
No.	9	部名	観光戦略部	課名	観光課
補助金名称	べっふ火の海まつり事業費補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	12,500		12,500		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	本市の夏の風物詩となっているイベントであり、減額等行くとイベントの質(花火の規模など)に直接影響が出るものであるため継続して補助したい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	名称の変更、内容の見直しにより、集客が図られており、夏のまつりとして定着している。補助金額の見積りにあたっては、実効性のある事業計画に基づき、事業の効果と必要性を評価して積算すること。また、支出の効率化により補助金額の縮減を図るとともに、事業費に対する補助であるが、天候不順等による実施予定事業の延期に要する経費の増加も想定されるため、繰越金が発生する場合については、事業の継続性を勘案し、その額の妥当性について検討されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	10	部名	観光戦略部	課名	観光課
補助金名称	クリスマスファンタジア事業費補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	15,000		15,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	家族や恋人など幅広い層の市民や観光客をターゲットにしており、開催にあたって多くの県外客の誘致ができるイベントであるため、継続して補助したい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	別府市を代表するイベントとして定着しているが、ここ数年、補助金額が固定化されている。補助金額の見積もりにあたっては、実効性のある事業計画に基づき、事業の効果と必要性を評価して、評価に応じた補助金額を積算されたい。また、支出の効率化による補助金額の縮減を図るとともに、事業費に対する補助であるが、天候不順等による実施予定事業の延期に要する経費の増加も想定されるため、繰越金が発生する場合については、事業の継続性を勘案し、その額の妥当性について検討されたい。				
No.	11	部名	観光戦略部	課名	観光課
補助金名称	油屋熊八翁顕彰会事業費補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	410		410		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	国際観光都市別府の生みの親である「油屋熊八」を風化させることなく、後世まで伝えるために必要なイベント補助である。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	補助金額と比較して大きな繰越金が発生する年度もあり、固定した額の補助金を毎年度、支出するのではなく、事業費に見合った必要最小限度の補助金を見積り、適切に執行されたい。また、繰越金が発生した場合は返還あるいは補助金の減額などの対応を求める				
No.	12	部名	観光戦略部	課名	観光課
補助金名称	別府市旅館ホテル組合連合会運営費補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	6,900		6,900		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	市内に数多く存在する旅館・ホテルを取りまとめる唯一無二の団体であり、県や市と民間宿泊施設を繋ぐパイプ役としても重要な団体であるため、継続して補助したい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助対象経費を明確にした事業補助への移行を進め、事業目的の達成に必要な最小限の補助金額とされたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	13	部名	観光戦略部	課名	観光課
補助金名称	大会開催等補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	0		12,000		△ 12,000
自己評価	自己評価の内容				
継続	現況で数多くのスポーツ団体の誘致を行い、市内宿泊者数から考えても、補助額に対し多大なる経済波及効果が出ているため、継続して補助したい。				
最終評価	最終評価の内容				
廃止	大会等の開催、それに伴う宿泊客数の増加は見られるが、補助制度よるものは検証がされていない。また制度が長期化し、補助金額は拡大する傾向にあり、また補助団体等が固定化する傾向にあることから、一旦、効果検証のため廃止し、目的である観光振興に直接的に効果が期待できる時代に沿った新たな制度を検討されたい。				
No.	14	部名	観光戦略部	課名	観光課
補助金名称	別府市コンベンション振興協議会補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	30,000		30,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	ビーコンプラザという国際会議等も行える施設を有効活用し、コンベンション誘致から別府の知名度・観光推進に繋げる役割を担っているため継続して補助したい。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	制度開始時に比べ運用益が大幅に減少しており、現状の基金財産の運用環境の中で、運用方法や存廃を含めた制度の方向性を検討されたい。				
No.	15	部名	観光戦略部	課名	温泉課
補助金名称	温泉建設等補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	3,012		1,798		1,214
自己評価	自己評価の内容				
継続	地域に密着し地域住民間の大切なコミュニティの場であり、別府の温泉文化の1つでもある共同温泉を支援するため、施設の改修や泉源掘削等の費用に対し貸付金に併せて補助金を交付し、施設改善や環境整備を促進している。入湯税の超過課税分の使途として、温泉資源の保護、確保の取り組みとして、本補助金では対応できない分の補助金も本年度予算計上していることから、上記目的を達するために必要な補助である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	今後も耐震化、老朽化に伴う改修が多く見込まれるため、各温泉組合等の需要を正確に把握し、補助金額を積算されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	16	部名	観光戦略部	課名	文化国際課
補助金名称	外国人留学生地域活動等助成金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	1,700		1,800		△ 100
自己評価	自己評価の内容				
継続	国際交流の機会を求める声は市民、留学生の双方から挙がっているが、特に留学生は自己資金に限りがある。また、市がその要望を受けて全て企画・運営しては経費・業務時間も膨大になり、そのような企画・運営ができる人材も育たない。国際交流に特化した地域の小規模イベントへの助成は国・県からも無いため、市民の自主的な活動を促し、人材を育てるとい点でも、「国際都市」「留学生のまち」を標榜する限りは助成を継続することが望ましい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	制度が周知されたことや活動の活性化により、利用者が拡大傾向にあるが、今年度で制度創設から5年間が経過することから、補助目的に照らして、これまでの実績から効果を検証して、今後の制度の方向性を決定されたい。				
No.	17	部名	観光戦略部	課名	文化国際課
補助金名称	海外留学奨励金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	300		300		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	要綱に定めている留学する者に対して補助を行っている。諸外国に留学し、積極的に勉学に励み、留学先における交流を促進する市民に対し、この奨励金を交付している。別府市が「国際交流都市宣言」の趣旨にのっとり、今後より一層の国際化を推進するために補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	RWCの推進、インバウンド誘致事業など市の重点的施策と補助目的の方向性は合致し、他の国際化施策と一体となった推進が求められるが、補助金支出後の効果検証を行いながら継続をしていく必要がある。				
No.	18	部名	観光戦略部	課名	文化国際課
補助金名称	市美展補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	315		315		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	日本画、洋画、工芸・彫刻、書道、写真の各分野での技術の向上と相互の作品理解を深めることと、より広く多くの市民が芸術文化に関心を高めることを目指し、毎年開催している。また、児童生徒の情操と芸術文化への意欲を高めることを目的としており、次年度も継続して実施することが必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	平成24年度補助金の見直しの評価に沿って、出展者の増加による収入の増収、補助対象経費の明確化及び補助率の引き下げ、事業費の1/3の補助等の改善が行われている。自主財源の増収と事業費の見直しにより助成割合を引き下げ、団体の自立を促すとともに、補助対象経費の明確化を図られたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	19	部名	観光戦略部	課名	文化国際課
補助金名称	別府市民フィルハーモニア管弦楽団事業費補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	1,500		1,500		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	別府市民フィルハーモニア管弦楽団は別府市内で活躍する音楽家により結成され、県内で唯一の行政主導の楽団である。毎年2回のビーコンプラザでの演奏会は市民に親しまれる恒例行事となっている。入場者数が減ってきており、この補助金によって年2回のコンサートが成り立っており、存続のためには補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	自主財源の確保と事業費の見直しにより助成割合を引き下げ、団体の自主・自立を図りたい。				
No.	20	部名	観光戦略部	課名	文化国際課
補助金名称	文化活動育成補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	1,000		1,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	本市の文化活動の活性化を図り、文化の薫るまちづくりに資することを目的に本市で文化活動を行っている団体に対し、補助金を交付している。 文化活動の推進、活性化のため、次年度も継続して実施することが必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	文化振興、文化団体の育成といった設立時の目的のほか、学校の文化活動振興などの目的も含み、文化活動に資する補助金としての必要性は認められるが、補助効果や補助目的が達成されているか検証したうえで、今後の継続の可否について検討されたい。				
No.	21	部名	観光戦略部	課名	文化国際課
補助金名称	音泉タウン実行委員会補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	1,800		1,800		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	音楽を通じて別府市の目指すONSENツーリズムの「音楽のあふれるまちづくり」に寄与することを目的に、年間通して音楽イベントを実施している。 上記目的を達成するために、次年度も継続して本事業を実施していく必要がある。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	平成17年度からの制度で、補助対象の活動は定着してきているが、補助期間が長期になっており、補助効果や補助目的が達成されているか検証したうえで、今後の継続の可否について検討されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	22	部名	観光戦略部	課名	産業政策課
補助金名称	オフィス系企業誘致促進補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	14,750		14,750		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	市内における雇用の創出及び新しい産業の集積による経済活動の活性化につなげるため、今後も積極的な企業誘致活動を行う。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	しごとの創生・まちの創生の観点から、起業、創業とともに企業誘致は重点として推進する施策であり、また競合する他自治体間と優遇上措置政策の均衡の観点から当面、継続とする。				
No.	23	部名	経済産業部	課名	産業政策課
補助金名称	シルバー人材センター運営費補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	10,000		10,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	シルバー人材センターは、『高齢者等の雇用の安定等に関する法律』に定められた、地域毎に1つずつ設置されている高齢者の自主的な団体で、臨時的・短期的または軽易な業務を、請負・委任の形式で行う公益法人である。 高齢者が定年等を理由に現役から引退した後も、就労等を通じて地域社会で「居場所」と「出番」を得られることや、その蓄積された知識・経験を生かして、地域社会の「支え手」となり、健康で意欲を持ち続けながら生涯を送ることのできる「生涯現役社会」の実現に向け、事業の継続は必要であると考えます。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	就業機会を通じた高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進による地域社会の活性化、生涯現役社会の実現という公益性の高い補助目的で継続が妥当と考えるが、単に定額を毎年、補助するのではなく、補助事業者の財務状況、活動内容を検証のうえ適切な額を算定されたい。				
No.	24	部名	経済産業部	課名	産業政策課
補助金名称	別府杵築速見国東地区労働者福祉協議会補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	270		270		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	少子化対策として、婚活交流会を開催し、これまでに成婚したカップルは10組にのぼる。また、地区ライフサポートセンターは、未組織労働者や地域住民を対象として相談事業に取り組み、勤労者の福祉向上に貢献している。以上の実績から、今後も補助を継続していきたい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	25	部名	経済産業部	課名	産業政策課
補助金名称	温泉コンシェルジュ人材育成支援事業費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	94		294		△ 200
自己評価	自己評価の内容				
継続	市内の観光業等に従事する社会人に必要な能力や知識を高める機会を提供し、地域ブランディング人材を育成することで、地域全体のおもてなし能力を向上させるために、補助を継続したい。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	観光業等に従事する人材の高度化という補助目的は市の重要施策と合致するものであり、推進が必要であるが、利用増加を促し、補助金の効果が発現できるよう改善されたい。				
No.	26	部名	経済産業部	課名	産業政策課
補助金名称	勤労者福祉サービスセンター運営費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	8,500		8,500		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	勤労者福祉サービスセンターは、中小企業と大企業の間にある勤労者福祉の格差是正に取り組むため、国の主導により創設されたものであり、運営経費は平成22年度まで主に会員収入と母体の3市1町1村の負担による補助金及び同額の国庫補助を財源としていた。しかし、平成23年度から国庫補助が廃止となり、財政状況が厳しくなる中、会員の増加に努め、補助金の増額は行わず運営を継続しており、今後も同額の補助を継続していきたい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
No.	27	部名	経済産業部	課名	産業政策課
補助金名称	創業支援事業補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	3,000		3,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	創業による新たなビジネスや雇用創出の拡大を図るとともに、ツーリズムバレー構想実現に向けて今後も積極的な創業支援を行う。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	起業・創業の促進、経営の継続を目的として、別府市総合戦略の推進する事業の一つであり継続とするが、真に補助目的に寄与しているか、常に検証しながら効果的な執行をされたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	28	部名	経済産業部	課名	産業政策課
補助金名称	別府竹細工ブランド化推進事業費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	2,500		2,500		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	新製品開発による成果や過去の優れた製品をセレクト、再考し、現代にあった形に部分的な変更や修正を加え、「Beppu Bamboo」ブランドとして、高付加価値のある製品として認められる製品のブランドの確立を目指し、企画展示販売の実施、国内セレクトショップでの展示販売を継続するために補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
No.	29	部名	経済産業部	課名	産業政策課
補助金名称	商店街振興事業費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	834		800		34
自己評価	自己評価の内容				
継続	今年度からの複数年計画で申請を検討している商店街から相談を受けており、長期間での支援を継続したい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
No.	30	部名	経済産業部	課名	産業政策課
補助金名称	商店街イベント補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	2,500		2,728		△ 228
自己評価	自己評価の内容				
継続	イベント開催による地域住民との連携が、地域の活性化につながるため支援を継続したい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	31	部名	経済産業部	課名	産業政策課
補助金名称	商店街街路灯電気料補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	1,000		1,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	商店街の活性化だけでなく、市民が利用する道路としての安全性を保つためにも支援を継続したい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
No.	32	部名	経済産業部	課名	産業政策課
補助金名称	大分県中小企業団体中央会補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	127		27		100
自己評価	自己評価の内容				
継続	地域経済の担い手である中小企業は需要の低下、売上の減少等に直面するなど多くの経営課題を抱え、厳しい経営環境にあり、今後も中小企業団体中央会による支援は中小企業の発展振興のため必要であり、市としても支援を行っていききたい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
No.	33	部名	経済産業部	課名	産業政策課
補助金名称	別府商工会議所補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	8,000		8,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	別府商工会議所は、地域唯一の総合経済団体であり、別府市の事業所の大半を占める中小企業の生の声を拾い上げ、それに基づいたサポートをおこなっており、地域活性化のためにも継続して補助したい。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	事業費に対する補助であり、商工振興関連事業など対象・補助効果を明確するなど、繰越金が発生している状況においても、政策的目的から補助する理由を明確にして、実績報告などを通じて示されたい。また、補助対象経費や補助割合の根拠等を明確にして必要最低限の補助金額を積算されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	34	部名	経済産業部	課名	産業政策課
補助金名称	別府たばこ販売協同組合補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	630		630		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	別府市内の美化推進及び喫煙者のマナー向上のために補助を継続いたしたい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
No.	35	部名	経済産業部	課名	産業政策課
補助金名称	竹・ルネサンス事業負担金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	1,200		1,200		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	竹・ルネサンス実行委員会による、各種企画展や「竹と月夜の調べ」などの行事は、「別府竹細工」の振興に寄与するものであり、継続していくためには補助は必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	総合戦略で推進する伝統工芸の振興の一事業であり、継続は妥当であるが、決算において補助金の二分の一以上の繰越金が発生しており、補助金の減額あるいは返還を求めるなど事業実施に必要な最小限の金額を精査されたい。				
No.	36	部名	経済産業部	課名	産業政策課
補助金名称	小規模企業経営改善普及事業費補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	5,400		5,400		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	市内事業所の大多数を占める中小企業に対し、各自が抱える問題点の把握とその共有を図り、問題解決と事業所等の自立並びに持続的な発展を支援するためにも継続支援いたしたい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助対象経費を把握するとともに、県補助金を参考に補助割合の根拠を明確にして、必要最低限の補助金額を積算されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	37	部名	経済産業部	課名	産業政策課
補助金名称	伝統的工芸品産業支援事業費補助金				
予算額	令和2年度(千円)	令和元年度(千円)	増減額(千円)		
	276	276	0		
自己評価	自己評価の内容				
継続	後継者育成、展示会、東京教室の運営等、行政では担えない事業であり、別府竹細工の伝統技術の継承のためにも必要な補助である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
No.	38	部名	経済産業部	課名	産業政策課
補助金名称	買受人組合研修費補助金				
予算額	令和2年度(千円)	令和元年度(千円)	増減額(千円)		
	0	120	△ 120		
自己評価	自己評価の内容				
改善	組合が行う研修に対する補助金であるため、今後の方針について、組合と協議の上、決定したい。				
最終評価	最終評価の内容				
廃止	3年間に渡り活動がない状況で補助制度を存続させる必要性に欠ける。廃止を検討されたい。				
No.	39	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	有害鳥獣被害防止対策事業費補助金				
予算額	令和2年度(千円)	令和元年度(千円)	増減額(千円)		
	3,326	3,326	0		
自己評価	自己評価の内容				
継続	イノシシ・シカ・野猿等による農林作物被害が増大することにより、離農者が増加し、農林業が衰退する恐れがある。農林作物を被害から守るため、防護柵等を設置することにより被害の減少が図られている。ただ、被害地域が里山まで広がっていることから、今後申請者数が増加するものと思われる。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	自己評価のとおり農林作物の被害を防ぐため継続が妥当であるが、県補助を確実に受けられるような事務執行及び市が単独で補助しているサル対策分について県及び関係機関の協力を求められたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	40	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	機構集積支援事業費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	350		500		△ 150
自己評価	自己評価の内容				
継続	国が実施する事業(10/10補助)であり、別府市においても、「人・農地プラン」を実現しやすくするために、農地中間管理機構を通して、農地の貸し借り、担い手への農地集積と集約化を支援していく。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	最大限の補助効果が得られるよう執行されたい。				
No.	41	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	別府市農業担い手組織活動補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	25		25		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	市内でも少なくなってきた園児や生徒を対象とした農作業体験学習の受入・サポートを行うなど、別府市における食育や地産地消の推進に大きく寄与している組織である。今後も市内農業振興の面からも継続的な補助を行っていききたい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
No.	42	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	経営所得安定対策等推進事業費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	2,400		2,700		△ 300
自己評価	自己評価の内容				
継続	国が実施する事業(10/10補助)であり、別府市においても経営所得安定対策等推進、及び、これを円滑に実施するための関係団体との連携体制の構築、戦略作物の生産振興や地域農業の振興を図るとともに、農地の利用集積、耕作放棄地の再生利用、担い手の育成・確保等に資するため継続して実施する。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	県の補助事業を活用して、最大限の効果が得られるよう適切に執行されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	43	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	別府市鳥獣害対策協議会補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	4,080		3,955		125
自己評価	自己評価の内容				
継続	引続き、狩猟者の増加を図るため、講習会の受講料助成を実施し、後継者の育成を図るとともに、箱わな等の購入・貸与や、サル被害対策として追払い業務の委託、放任果樹の除去等を実施し、鳥獣被害対策の促進を図る。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	農作物被害の状況から、鳥獣被害対策に対するニーズは高く、継続は妥当であるが、より補助効果が得られるよう補助事業者と協議されたい。				
No.	44	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	大分県農林水産祭(農業部門)開催補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	4,200		4,200		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	別府市の秋のイベントとして市民に定着しており、大分県内外より毎年5万人程度が来場している。出店者や来場者も宿泊などで、別府市内のホテルや飲食店に貢献している。過去他市での開催した場合は、来場者や売上げが大幅に少なく、農業者からは別府市での開催が望まれている。令和元年度の補助金額は4,200千円に減額。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	多数の来場者があるイベントとして定着しているが、事業実施に必要な金額を精査し、適切に執行されたい。				
No.	45	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	別府市園芸組合連合会補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	195		195		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	現在、市独自での生産者向けの栽培技術研修会等は開催しておらず、市内生産者の栽培技術向上を図る上で本協議会が重要な役割を担っている。 市民生活に欠く事の出来ない地元産農産物の安定生産・供給のためにも今後も継続して補助を行っていく必要がある。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	補助対象経費を明確にして、生産者の技術向上といった補助目的に沿って適切に執行されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	46	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	別府日出和牛協議会補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	187		187		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	これまで畜産農家の減少により和牛頭数が減少傾向にあったが、近年の子牛価格の高騰により、和牛の増頭が見込まれる。そのため、農家の安定経営を支える協議会事業の重要性が高まっている。別府市産の子牛の販売金額の増加のためにも補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
No.	47	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	大分県畜産共進会開催補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	600		600		0
自己評価	自己評価の内容				
改善	大分県畜産共進会共進会(肉用牛の部)を大分県農業祭と一体的に開催することで、消費拡大を目指した普及啓発が図られている。令和元年度までは別府公園文化ゾーンで例年通り開催を行うが、令和2年度以降は開催場所が未定である。関係機関と連絡調整をとりながら、開催場所及び補助金について方針を決定したい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
No.	48	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	低コスト簡易作業路緊急整備事業費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	250		250		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	生産者の高齢化等に伴い生産量が減少しており、生産現場の省力化が不可欠であるため継続した補助が必要。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	県の補助要綱等に従い適切に執行されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	49	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	大分県農林水産祭(林業部門)開催補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	700		700		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	継続的に実施することで、木とのふれあいの場を広く県民に提供でき、木材に対する理解を深めていくことができる。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	多数の来場者があるイベントとして定着しているが、事業実施に必要な金額を精査し、適切に執行されたい。				
No.	50	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	椎茸種駒購入費助成事業費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	500		500		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	乾椎茸単価は補助金交付開始年度に比べると回復はしてきたものの、近年不作が続いており、収入は安定していないため継続した補助が必要。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	椎茸生産者の経営安定を支援するため必要であることは認められるが、定期的に補助効果や補助事業者の経営状況などを確認し、補助の必要性を検証すること。				
No.	51	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	特用林産振興事業費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	88		1,377		△ 1,289
自己評価	自己評価の内容				
継続	生産者の高齢化等に伴い生産量が減少しており、生産拡大するためには継続した補助が必要。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	県の補助事業を活用して、最大限の効果が得られるよう適切に執行されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	52	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	森林環境保全直接支援事業費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	665		858		△ 193
自己評価	自己評価の内容				
継続	木材価格が低迷しており、森林所有者の自助努力のみでは適正な整備が難しいため、継続した補助が必要。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	県の補助事業を活用して、最大限の効果が得られるよう適切に執行されたい。				
No.	53	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	漁業振興費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	76		76		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	活動を通じて漁場の環境保全を行っており、活動継続のためには補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助対象となる活動については公益性は認められるが、少額補助であることから有効性について検証されたい。				
No.	54	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	大分県漁業協同組合青年部別府支部活動補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	25		25		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	活動を通じて水産資源の保護育成及び水産業の啓発を行っており、活動継続のためには補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助対象となる活動については公益性は認められるが、少額補助であることから有効性について検証されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	55	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	栽培漁業推進事業費補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	1,500		1,500		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	活動を通じて水産資源の維持・保全を行っており、活動継続のためには補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	漁獲量増加等の事業の効果、有効性について継続的に検証されたい。				
No.	56	部名	経済産業部	課名	農林水産課
補助金名称	大分県農林水産祭(水産部門)開催補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	1,800		1,800		0
自己評価	自己評価の内容				
縮小	大分県農林水産祭(水産部門)大分県水産振興祭を別府市で開催しており、令和元年度より補助金を減額したが、開催継続のためには補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	多数の来場者があるイベントとして定着しているが、事業実施に必要な金額を精査し、適切に執行されたい。				
No.	57	部名	公営事業部	課名	公営競技事務所
補助金名称	周辺対策事業補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	6,300		6,300		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	公益事業として収益を確保し、一般会計へ繰り出しするため、近年、本場及び場外発売開催日数が大幅に増加している。ちなみに、平成30年の月平均開催日数は27日(非開催日は3日)。うち、昼夜連続開催は、月約20日超。このように過密スケジュールで開催できるのも、周辺地区の理解と協力があったからこそ、と認識。このような状況を背景に、今後も引き続き、周辺対策事業の一環である当該補助金は、競輪場周辺地区の活性化を図るため、継続する必要がある。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	競輪事業の円滑な実施のため、周辺地区の理解と協力は必要である。より補助金が効率的な執行となるよう事業内容や補助対象経費、補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	58	部名	公営事業部	課名	公営競技事務所
補助金名称	選手会等助成金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	1,200		1,200		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	日常訓練においては、選手個々の競技力向上が、若手選手強化訓練においては、指導員による周回・スピード練習を通じてのレベルアップが、強化合宿においては、各級(A級～S級)選手が混じってのケイリン競走やタイムトライアルを通じて、上級者の競技力体感やライン競走上必要なノウハウの習得及び人格の養成が図られている。また、別府で開催する各グレードの競走において地元選手が1着になると、地元ファンの喝采を博し、場内は大いに盛り上がる。このため、当該補助金は継続する必要がある。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	競輪事業の収益向上あるいは活性化のため、必要であるが、補助金の効率的な執行に向け、補助対象となる事業内容や補助対象経費、補助団体等の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
No.	59	部名	生活環境部	課名	人権同和教育啓発課
補助金名称	全日本同和会県連合会別府支部補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	2,451		2,476		△ 25
自己評価	自己評価の内容				
縮小	差別がある限り運動団体との連携が必要である。補助金においては関係団体と協議しながら従来どおり縮小していきたい。				
最終評価	最終評価の内容				
縮小	自己評価のとおり、対象団体と協議し、補助金額の縮小をされたい。				
No.	60	部名	生活環境部	課名	人権同和教育啓発課
補助金名称	部落解放同盟県連合会別府支部補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	2,451		2,476		△ 25
自己評価	自己評価の内容				
縮小	差別がある限り運動団体との連携が必要である。補助金においては関係団体と協議しながら従来どおり縮小していきたい。				
最終評価	最終評価の内容				
縮小	自己評価のとおり、対象団体と協議し、補助金額の縮小をされたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	61	部名	生活環境部	課名	人権同和教育啓発課
補助金名称	別府市人権問題啓発推進協議会補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	3,650		3,650		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	協議会の構成員である別府市・別府市教育委員会及び関係団体が連携し、人権に関する講演会や教育・啓発活動を実施することにより、全ての市民の基本的な人権が等しく尊重される社会を希求し、同和問題の解決をはじめ、あらゆる差別の解消を図る必要がある。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	他の自治体の状況などを調査のうえ適切に対応するとともに、補助団体の収支状況等を把握のうえ、必要最低限の補助金額を積算されたい。				
No.	62	部名	生活環境部	課名	人権同和教育啓発課
補助金名称	大分人権擁護委員協議会補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	260		260		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	日本国憲法で定められた個人の尊厳と自由平等の理念に基づき、国民の基本的な人権を擁護する啓発活動を円滑に進める人権擁護委員の助成金(1名につき20,000円委員数13名)はいままでどおり必要である。人権擁護委員による市民の人権救済の存在は大きい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	事業内容や補助対象経費、補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
No.	63	部名	生活環境部	課名	人権同和教育啓発課
補助金名称	別府市人権・同和教育研究会補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	850		850		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	本研究会は、学校人権・同和教育推進のため、別府市内公立幼稚園・小・中学校教職員および保護者を対象に毎年研究大会を開催するとともに授業研究会の実施と授業内容や実践レポートを冊子にまとめ全校に配付している。また、公益社団法人大分県人権教育研究協議会と連携し、常に人権・同和教育において最新の情報を学校現場に提供する側面も担っている。今後も本研究会の主導で推進しなければならないことから、存続が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	事業内容や補助対象経費、補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	64	部名	生活環境部	課名	環境課
補助金名称	保護樹維持助成金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	200		100		100
自己評価	自己評価の内容				
継続	別府市内に古くから残る良好な自然環境を後世に残していくためにも、保護地区及び保護樹の所有者がその環境を保全するために行う維持管理費用に対して別府市として助成を行う必要がある。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	保護樹は将来にわたって保存すべき貴重な緑の財産であり、そのための保護は公益性があり、継続を妥当とする。				
No.	65	部名	生活環境部	課名	環境課
補助金名称	飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	3,100		2,100		1,000
自己評価	自己評価の内容				
継続	飼い主のいない猫の増殖を抑制し、また餌や排泄物を適正に管理することにより地域における糞尿被害等を減少させ、人と猫が共存できる良好な生活環境の保持を図るため、引き続き活動グループに対する不妊去勢手術に対する補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	飼い主のいない猫の適切管理は社会的要請が高く、当該補助金の利用団体等も増加傾向にあることから、継続が必要であるが、制度改正から5年経過することから、補助金が真に目的の達成に寄与しているか検証して、より有効な制度運用をされたい。				
No.	66	部名	生活環境部	課名	環境課
補助金名称	資源回収奨励補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	2,160		2,160		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	本事業は、自治会や子ども会等、地域社会の中核となる団体・組織が、ごみ減量及び再資源化の推進をする「協働事業」であり、事業を継続することにより、地域のコミュニケーションをより一層深めることができる。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	事業内容や補助対象経費、補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	67	部名	生活環境部	課名	環境課
補助金名称	別府市美しいまちづくり奨励事業補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	1,000		1,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	近年、利用件数及び年間支出額は、増加傾向で推移しており、清掃活動に使用する器具等については、消耗品であるため、買い換えが必要なこともあり、また、美しいまちづくりを推進するためには、市民(自治会)の協力が不可欠であることから、補助が必要であると考えます。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	事業内容や補助対象経費、補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
No.	68	部名	生活環境部	課名	保険年金課
補助金名称	はり・きゅう・マッサージ施術費補助金(後期高齢者医療)				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	20,792		17,021		3,771
自己評価	自己評価の内容				
改善	問題点等を勘案して、下記見直し案で検討を行っている。 ①対象を被保険者から、年齢制限を設けた上で市民に変更し、No.69と一本化。併せて回数・金額等も見直しを検討する。 ②現行制度を維持し、県内他自治体の制度との比較・検討を実施し、回数・金額等の見直しや滞納制限の強化を検討する。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	他の各自治体が所得制限、回数の見直しなど進めるなか、補助回数、年間補助限度額、1回あたりの補助金額がいずれも、県内では上位であり、今後も増加が予想されることから、国民健康保険事業と併せて必要な見直しをされたい。				
No.	69	部名	生活環境部	課名	保険年金課
補助金名称	はり・きゅう・マッサージ施術費補助金(国民健康保険事業)				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	18,434		19,462		△ 1,028
自己評価	自己評価の内容				
改善	問題点等を勘案して、下記見直し案で検討を行っている。 ①対象を被保険者から、年齢制限を設けた上で市民に変更し、No.68と一本化。併せて回数・金額等も見直しを検討する。 ②現行制度を維持し、県内他自治体の制度との比較・検討を実施し、回数・金額等の見直しや滞納制限の強化を検討する。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	他の各自治体が一般施策の移行、所得制限、回数の見直しなど進めるなか、補助回数、年間補助限度額、1回あたりの補助金額がいずれも、県内では上位であり、今後も増加が予想されることから、補助対象を被保険者に限定していることや特別会計で補助する必要性などを検証して、必要な見直しをされたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	70	部名	福祉共生部	課名	福祉政策課
補助金名称	社会福祉協議会補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	15,073		15,576		△ 503
自己評価	自己評価の内容				
継続	社会福祉協議会は公益性の強い社会福祉法人であり、地域福祉に占める割合も大きいものと考えられる。よって、社会福祉協議会が事業を実施するための財政状況を勘案して補助する必要があると考える。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助金等交付指針に従い、運営費補助から事業費補助への移行が図られたが、有効性、効率性の観点から、補助する事業を精査するとともに、必要最小限の補助金を積算されたい。				
No.	71	部名	福祉共生部	課名	福祉政策課
補助金名称	別府区保護司会補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	95		95		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	犯罪を犯した人たちの更生を目的としており、地域社会における役割が大きいため。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	繰越金の使途を明らかにするとともに、繰越がある場合は補助金を一時中止するよう補助団体と調整されたい。				
No.	72	部名	福祉共生部	課名	福祉政策課
補助金名称	北部コミュニティセンター運営費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	11,597		12,130		△ 533
自己評価	自己評価の内容				
継続	競輪場周辺対策事業の一環として建設されたものであって公共性が極めて高いため。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	施設を運営するうえで、補助金の支出は適当であると考えられるが、補助対象経費を的確に把握のうえ、超過が生じた場合の返還など、必要最小限の補助金額を支出するよう努められたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	73	部名	福祉共生部	課名	福祉政策課
補助金名称	大分県原爆被害者団体協議会補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	63		63		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	大分県原爆被害者団体は、被爆者の生活や健康を守るための活動を行っている。また、被爆の経験を若い世代に継承していく活動も行っている。このような被爆者の救済や被爆体験の継承等の被爆者団体の取組みは、継続していくべきものであり、その運営の補助を市町村が行うことは公的扶助の一環と考えられる。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	事業内容や補助対象経費、補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
No.	74	部名	福祉共生部	課名	障害福祉課
補助金名称	聴覚障害者用ファクシミリ貸与助成金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	60		122		△ 62
自己評価	自己評価の内容				
継続	昭和58年要綱制定以来継続的に利用者がおり、失聴したろうあ者は、補聴器や人工内耳などにより残存聴力を活かすことができず、音によって周囲の状況を判断できないことから、これらの人のコミュニケーションと緊急時の対応等に大きく寄与するため今後も継続が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
縮小	昨今の情報通信の発達に伴い、コミュニケーションの多様化が進んでいる中で、固定電話並びにファックスの貸与によるコミュニケーションの確保に限定した方法が妥当であるのか、現状の調査を行い、ニーズを把握した上で、福祉電話を含む障害者及び高齢者のコミュニケーション事業としてのあり方を再検討されたい。				
No.	75	部名	福祉共生部	課名	障害福祉課
補助金名称	福祉ホーム事業補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	7,213		7,213		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)第77条第3項の規定による地域生活支援事業として、住居を求めている障がい者に対し、低額な料金で、居室その他の設備を利用させるとともに、日常生活に必要な便宜を供与するために必要な事業である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	障害者の日常生活等を支援する福祉ホームの必要性の観点から欠かせない事業であるため、継続は妥当であると考えられる。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	76	部名	福祉共生部	課名	障害福祉課
補助金名称	別府市身体障害者福祉団体協議会運営費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	957		957		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	本協議会は、身体障がい者の生活と安定を目的とし、社会参加を推進する各身障協会との交流を行い、市行政と身体障がい者間の連絡に努め、外出困難な在宅障がい者を含めたレクリエーションを実施する等、自らが多くの福祉事業を実施しているため、その活動により身体障がい者の福祉の増進が図られているものであることから、当該団体の運営費に対して引き続き補助する必要があるものとする。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	他自治体との比較では依然として高額の補助となっている。会費収入などの自主財源の増収に努めるとともに事業内容の精査を行い段階的に事業費補助への移行を進めるべきである。				
No.	77	部名	福祉共生部	課名	障害福祉課
補助金名称	福祉バス研修事業補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	1,000		1,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	障害者総合支援法(平成17年法律第123号)第77条第3項の規定に基づき実施する地域生活支援事業として、障がい者の社会参加の促進に必要な事業である。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	総会・理事会・意見交換会の送迎など補助目的である障がい者の社会参加促進に適合しないと思われる執行が見受けられる。補助実績を検証するとともに補助する目的を再定義して、補助金の目的に沿って適切に執行されたい。				
No.	78	部名	福祉共生部	課名	障害福祉課
補助金名称	難聴児補聴器購入費等助成金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	80		100		△ 20
自己評価	自己評価の内容				
継続	大分県下殆どの市町村が実施しており、居住地によって隔たりが生じることのないよう平成25年度に制度の整備を行っている。現在も継続的に利用者がおり、聴覚障がい児の早期からの言語発達やコミュニケーション能力の獲得及び学力向上に寄与しているため、本事業は継続の必要性がある。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	難聴児に対する言語発達の促進など補助目的に対して対象からの要望が強いことや、ほぼ県内全市町村が実施していることから、補助制度の需要が高いと考えられ継続を妥当とする。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	79	部名	福祉共生部	課名	子育て支援課
補助金名称	認可外保育施設助成金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	3,824		3,938		△ 114
自己評価	自己評価の内容				
継続	本市に所在する認可外保育施設の安全かつ健全な保育環境の確保及び保育内容の充実を図ることにより、認可外保育施設に入所している保育を必要とする乳幼児を心身ともに健やかに育成するために必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	認可外保育施設を利用する乳幼児にとって継続は妥当と考えるが、助成金の充当状況等により、具体的な補助効果を明確にすること。				
No.	80	部名	福祉共生部	課名	子育て支援課
補助金名称	クーポン事業助成金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	9,900		10,500		△ 600
自己評価	自己評価の内容				
継続	利用実績もあり、事業の効果も認められる。また、事業実施主体が大分県であり、県内全ての自治体で同一のサービスを受けられる必要があることから、継続としたい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	県の補助金を活用した市の事業であるため、継続の判断は市がすべきであるが、県下都市の実施状況あるいは市が重点を置く子育て支援策の一事業として継続を妥当とする。				
No.	81	部名	福祉共生部	課名	子育て支援課
補助金名称	放課後児童クラブ保護者負担金補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	6,552		6,543		9
自己評価	自己評価の内容				
継続	大分県の1/2補助事業であり、現時点では県も事業継続予定。 放課後児童クラブを利用する保護者の経済的な負担を軽減するためには補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	県下都市の実施状況あるいは市が重点を置く子育て支援策の一事業として継続を妥当とする。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	82	部名	福祉共生部	課名	子育て支援課
補助金名称	障害児保育促進対策事業等補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	4,800		2,500		2,300
自己評価	自己評価の内容				
継続	今後も障害児を受け入れている保育所等に補助することで障害児の保育を促進し、障害児の処遇の向上を図るために補助は必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	障害児の処遇向上につながるよう、この現行制度の活用を図られたい。				
No.	83	部名	福祉共生部	課名	子育て支援課
補助金名称	延長保育事業補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	37,212		31,557		5,655
自己評価	自己評価の内容				
継続	保護者の勤務等により保育所の開所時間の前後の時間において、児童が保育に欠けている場合の保育の需要に対応するために必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	県下都市の実施状況あるいは市が重点を置く子育て支援策の一事業として継続を妥当とする。				
No.	84	部名	福祉共生部	課名	子育て支援課
補助金名称	一時保育促進事業補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	24,502		16,932		7,570
自己評価	自己評価の内容				
継続	日常生活上の突発的な事情、社会参加などにより、一時的に家庭での保育が困難となる場合又は育児疲れによる保護者の心理的・身体的負担を軽減するための支援が必要となる場合に対応するために必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	県下都市の実施状況あるいは市が重点を置く子育て支援策の一事業として継続を妥当とする。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	85	部名	福祉共生部	課名	高齢者福祉課
補助金名称	地区敬老会交付金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	30,602		29,392		1,210
自己評価	自己評価の内容				
改善	令和2年度以降について事務事業の見直しの中で協議していく。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	福祉サービス事業あり方検討委員会において見直しの対象となっており、同検討委員会の意見書を基に、福祉サービス全体の見直しの中で、本補助事業の方向性を決定し、必要な見直しをされたい。				
No.	86	部名	福祉共生部	課名	高齢者福祉課
補助金名称	敬老祝金交付金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	61,190		64,300		△ 3,110
自己評価	自己評価の内容				
縮小	本事業の実施に係る条例については平成21年度に見直され、祝金の毎年支給から節目支給に見直されているが、県内の他市と比べ支給対象割合が多いことから見直しを行い、他の事業展開を予定しているところですが、新規事業の実施見込みに併せ更なる改正を行いたい。				
最終評価	最終評価の内容				
縮小	福祉サービス事業あり方検討委員会において見直しの対象となっており、同検討委員会の意見書を基に、福祉サービス全体の見直しの中で、本補助事業の方向性を決定し、必要な見直しをされたい。				
No.	87	部名	福祉共生部	課名	高齢者福祉課
補助金名称	別府市老人クラブ連合会活動費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	2,459		2,467		△ 8
自己評価	自己評価の内容				
改善	今後も引き続き老人クラブの活動を支援し、誰もが参加したくなる老人クラブづくりを支援するとともに、会員増に向けた取組みを支援していきたい。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	活動の充実・活性化に向け、老人クラブの加入数の増加を促されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	88	部名	福祉共生部	課名	高齢者福祉課
補助金名称	別府市老人クラブ連合会事業費補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	960		960		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	別府市単独の補助金だったが、国及び県からも事務局体制の強化補助金として、今年度より認めれており、市の負担分が減額されている。今後も引き続き老人クラブの活動を支援し、誰もが参加したくなる老人クラブづくりを支援するとともに、会員増に向けた取組みを支援していきたい。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	活動の充実・活性化に向け、参加者数の増加を促すとともに、補助対象経費の精査により必要最小限の補助金額を積算されたい。				
No.	89	部名	福祉共生部	課名	高齢者福祉課
補助金名称	別府市単位老人クラブ補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	3,834		3,765		69
自己評価	自己評価の内容				
改善	今後も引き続き老人クラブの活動を支援し、誰もが参加したくなる老人クラブづくりを支援するとともに、会員増に向けた取組みを支援していきたい。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	福祉サービス事業あり方検討委員会の意見書に基づき、クラブの運営や活動状況に応じて真に必要な支援ができるよう検討されたい。				
No.	90	部名	福祉共生部	課名	高齢者福祉課
補助金名称	社会福祉法人利用者負担軽減助成金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	986		1,034		△ 48
自己評価	自己評価の内容				
継続	厚労省で開催される全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議において、この軽減事業の実施が推進されており今後も事業実施が必要と思われるため。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	低所得者の利用者負担を軽減する観点から、補助事業として継続を妥当とする。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	91	部名	福祉共生部	課名	高齢者福祉課
補助金名称	回数券購入費助成金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	34,279		20,228		14,051
自己評価	自己評価の内容				
継続	バス回数券の一部を助成することで、高齢者の外出機会の増加につながり、高齢者の社会参加の促進の一助となっている。令和2年度以降もニーズに基づいた実施方法を引き続き検討し、本事業を継続したい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	高齢者の社会参加促進の事業として、利用者も増加しており、事業実施のニーズが高い。利用者からの要望を基に、実施方法を常に見直し、より利便性の高い事業実施を図られたい。				
No.	92	部名	いきいき健幸部	課名	健康づくり推進課
補助金名称	不妊治療費助成金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	970		1,129		△ 159
自己評価	自己評価の内容				
継続	医療保険適用外の不妊治療に要する治療費の一部を助成することで経済的負担を軽減し、今後も少子化対策の推進を図るため。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	市の単独事業ではあるが、少子化対策及び次世代育成支援の観点から、継続すべきと考えられる。				
No.	93	部名	いきいき健幸部	課名	健康づくり推進課
補助金名称	骨髄移植ドナー等支援事業助成金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	140		210		△ 70
自己評価	自己評価の内容				
継続	骨髄バンクが実施する骨髄等の提供を行う者は、1週間程度の入通院が必要である。そのため、提供をする本人、及び、その者を雇用している事業所について、経済的な負担が生じることになるが、助成金を交付し、経済的負担を軽減することで、骨髄等の移植の推進を図るため。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	骨髄等の提供者の増加および骨髄等移植の促進を図るための助成制度であり、県下の全都市も実施しており、継続を妥当とする。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	94	部名	いきいき健幸部	課名	健康づくり推進課
補助金名称	別府地域保健委員会補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	650		650		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	市民の健康保持増進のために別府地域社会の医療と公衆衛生に関する全ての問題を調査立案し、別府地域社会の発展を図るため。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	決算における繰越金の発生から令和元年度予算の補助金額は縮小されたが、引き続き補助する団体の決算状況をみて補助目的の達成に必要な経費を見積り、補助金額を精査されたい。				
No.	95	部名	建設部	課名	建築指導課
補助金名称	木造住宅耐震診断補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	3,520		3,520		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	日本各地で地震が頻発しており、耐震診断に対しての市民ニーズは高く、また、地震に強いまちづくりを進めるためには、補助金の交付を行うことが最も効果的かつ効率的な手法であるため、今後も継続して補助を実施いたしたい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	地震の頻発により、市民の耐震化に対する関心は高く、事業の必要性は認めるが、本制度が補助目的である地震に強いまちづくりにつながっているか効果検証を行い、より有効な制度運営をされたい。				
No.	96	部名	建設部	課名	建築指導課
補助金名称	老朽空き家除却補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	2,000		2,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	特定空家の所有者と除却交渉をする中で、補助制度があることは有力な交渉材料となる。特定空家等による市民の生命・財産等に対する危険を取り除き、被害の発生を防止するためには補助金の交付を行うことが最も効果的かつ効率的な手法であるため、今後も継続して補助を実施いたしたい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	市民の生命・財産等を保護するため、今後、増加が見込まれる特定空家等の対策として、制度を有効に活用されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	97	部名	建設部	課名	建築指導課
補助金名称	木造住宅耐震改修等補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	12,000		12,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	平成30年度は県の耐震改修フロー見直しにより件数は伸び悩んだが、耐震改修に対するの市民ニーズは依然として高く、また、地震に強いまちづくりを進めるためには、補助金の交付を行うことが最も効果的かつ効率的な手法であるため、今後も継続して補助を実施いたしたい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	地震の頻発により、市民の耐震化に対する関心は高く、事業の必要性は認めるが、本制度が補助目的である地震に強いまちづくりにつながっているか効果検証を行い、より有効な制度運営をされたい。				
No.	98	部名	建設部	課名	建築指導課
補助金名称	アスベスト調査補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	1,000		1,250		△ 250
自己評価	自己評価の内容				
縮小	市民の健康の保護・生活環境の保全促進のためには、補助金の交付を行うことが最も効果的かつ効率的な手法であるが、近年実績がないため縮小の評価とした。				
最終評価	最終評価の内容				
縮小	対象施設の拡大により、制度の利用者増が見込まれるが、不用額が毎年度、発生している状況を踏まえ、的確な需要を見込み、必要最小限度の補助金額を積算されたい。				
No.	99	部名	共創戦略室	課名	自治振興課
補助金名称	ひとまもり・まちまもり自治区事業費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	15,000		10,000		5,000
自己評価	自己評価の内容				
継続	将来の人口減少、少子高齢化を見据え、市民や市、多様な主体が連携・協働することにより、共通する地域課題の解決を図り、地域包括支援センターの配置にあわせた7つの自治区において、自治機能を維持する中規模多機能自治の実現をめざすうえで、地域の課題解決に向けた取組みを支援する当補助金は必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	複数の自治会の連携に加え、多様な団体等が加わり、地域運営組織が形成されるとともに、多様化する地域の課題解決に向けた取組も充実してきている。中規模多機能自治の実現に向け、引き続き制度によるさらなる支援に取り組まれたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	100	部名	共創戦略室	課名	自治振興課
補助金名称	山の納涼音頭大会補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	450		450		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	自衛隊別府駐屯地所属隊員と市民との交流の場を設けて相互理解を深めるとともに、地域のコミュニケーション向上及び地域の活性化を図る事業であり、引き続き補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	市が助成する目的、必要性を、現状の事業の内容や参加者の構成などから再度検証するとともに、市と他団体の負担割合の妥当性について検討されたい。				
No.	101	部名	共創戦略室	課名	自治振興課
補助金名称	浜脇薬師祭り補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	540		540		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	別府浜脇温泉の恵みに感謝し、温泉文化を伝えるうえで、重要な役割を果たしている伝統的な行事であり、観光客の誘致及び地域活性化につながる事業であるため、引き続き補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	伝統行事の継承と地域活性化を目的とする助成であり一定の意義は認められるが、補助金の適正な執行のため、補助金額の見積もりにあたっては、実効性のある事業計画に基づき、事業の効果と必要性を評価して、評価に応じた補助金額を積算されたい。				
No.	102	部名	共創戦略室	課名	自治振興課
補助金名称	鉄輪湯あみ祭り補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	180		180		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	温泉文化を伝える伝統行事として、鉄輪地区を盛り上げることで、観光客のさらなる誘致及び地域活性化につながる事業であるため、引き続き補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	伝統行事の継承と地域活性化を目的とする助成であり一定の意義は認められるが、補助金の適正な執行のため、補助金額の見積もりにあたっては、実効性のある事業計画に基づき、事業の効果と必要性を評価して、評価に応じた補助金額を積算されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	103	部名	共創戦略室	課名	自治振興課
補助金名称	自治委員活動費助成金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	16,288		16,282		6
自己評価	自己評価の内容				
継続	自治委員へ委託している事務等に対して補助を行っている。市からの様々な依頼など年々取り扱い事務が増加している。市にとっても地域住民にとって重要な存在であり、自治委員制度存続のためには補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	自治委員への依頼事務が全庁的に行われ、業務も増加し、多様化傾向にある。今後も自治委員制度は行政と市民とのパイプ役として重要な役割を担うと考えられるため、補助金制度の継続を妥当とする。				
No.	104	部名	共創戦略室	課名	自治振興課
補助金名称	自治委員地区運営費助成金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	725		725		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	自治委員へ委託している事務等に対し支部に補助を行っている。市からの様々な依頼など年々取り扱い事務が増加しているため、支部単位での活動も増えている。自治委員制度存続のためには補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	自治委員への依頼事務が全庁的に行われ、業務も増加し、多様化傾向にある。今後も自治委員制度は行政と市民とのパイプ役として重要な役割を担うと考えられるため、補助金制度の継続を妥当とする。				
No.	105	部名	共創戦略室	課名	自治振興課
補助金名称	自治委員会運営費助成金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	1,592		1,592		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	自治委員へ委託している事務等に対して補助を行っている。市からの様々な依頼など年々取り扱い事務が増加している。自治委員の高齢化などの問題はありますが、市にとっても地域住民にとって重要な存在であり、自治委員制度存続のためには補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	自治委員への依頼事務が全庁的に行われ、業務も増加し、多様化傾向にある。今後も自治委員制度は行政と市民とのパイプ役として重要な役割を担うと考えられるため、補助金制度の継続を妥当とする。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	106	部名	共創戦略室	課名	防災危機管理課
補助金名称	別府市交通安全指導員会補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	30		50		△ 20
自己評価	自己評価の内容				
継続	各学校区域での交通安全指導は、安全で安心なまち別府を実現するために不可欠であり、補助対象経費についても活動費や保険金等、必要最低限の使途である。引き続き児童等の安全を守るため補助金の継続が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	児童・生徒の交通事故防止を目的とした街頭活動など交通安全の推進に貢献している交通安全指導員は、地域において必要不可欠で、人材育成の観点から本補助金の必要性は認められる。				
No.	107	部名	共創戦略室	課名	防災危機管理課
補助金名称	別府市交通安全対策協議会補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	300		360		△ 60
自己評価	自己評価の内容				
継続	悲惨な交通事故が繰り返し報道される情勢において、交通安全運動の推進は必要不可欠であり、今後も市民総ぐるみで運動を展開していくためには補助金の継続が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助対象経費の大半が事務的経費であるが、市に事務局が設置され、総会も開催されていない等、組織運営についての見直しが必要と考えられる。 県内の他市町村の状況も踏まえ、今後の協議会のあり方について検討されたい。				
No.	108	部名	共創戦略室	課名	防災危機管理課
補助金名称	大分県交通安全協会別府支部補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	5,422		4,637		785
自己評価	自己評価の内容				
継続	幼児・児童に対する交通安全教室の実施においては、大分県交通安全協会別府支部の協力が不可欠である。大分県交通安全協会補助金交付要綱の趣旨に準じ今後も補助金の継続が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	平成24年度の補助金見直しにより、新たに設立されたもので補助率、対象経費ともに明確であり自己評価のとおり継続とするが、事業の公益性確認のため、適切な報告書の提出を求められたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	109	部名	共創戦略室	課名	防災危機管理課
補助金名称	別府市暴力絶滅対策協議会補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	70		76		△ 6
自己評価	自己評価の内容				
継続	暴力を絶滅することにより、観光客が安心して来訪できるとともに市民が安心して生活できる暴力のない明るく住みよい平和な国際観光温泉文化都市別府の発展に寄与する活動の補助として必要であると思われる。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	補助金は、多団体の会費と併せ、協議会の運営費に充てられているものであるが、毎年度繰越金が発生しており、事業内容の見直しを検討されたい。				
No.	110	部名	共創戦略室	課名	防災危機管理課
補助金名称	別府市防犯協会連合会補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	2,085		2,085		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	防犯関係団体等と協力して犯罪被害防止・地域安全活動等を行うためには、防犯協会連合会の協力が不可欠である。市民や観光客に安全・安心なまちづくりを提供する為には補助金の継続が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
No.	111	部名	共創戦略室	課名	防災危機管理課
補助金名称	市連合防災協議会育成助成金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	680		680		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	自主防災訓練実施率は年々高まり、防災士を中心に自主的に訓練を企画する自主防災会も現れてきており、災害時における自助・共助の意識は着実に高まっている。しかし、平成30年7月豪雨の検証結果に基づき「自分の命は自らが守る」意識の徹底が叫ばれ、避難行動要支援者への対応が各自治会に求められるなど、自主防災組織の果たすべき役割は年々大きくなっていることから、引き続き活動を助成することが必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	自主防災の意識を向上させる重要な事業であるため、継続が妥当と考えるが、対象事業費の精査を行い必要最小限の助成をされたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	112	部名	共創戦略室	課名	防災危機管理課
補助金名称	自主防災連携活動補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	0		5,000		△ 5,000
自己評価	自己評価の内容				
継続	補助の要件である連携防災訓練を実施することにより、顔の見える関係を築くことができ、訓練を通じての地域づくりと資機材整備による地域防災力の向上につながる。地域防災力の向上のため、補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	「ひとまもり・まちまもり自治区事業費補助金」と補助対象者がほぼ重複しており、利用者の利便性や補助効果の観点から、統合を含め、両補助金制度の整理をされたい。				
No.	113	部名	教育委員会	課名	教育政策課
補助金名称	私立幼稚園運営費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	1,000		1,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	教育研究費を助成することにより教育の振興を図ることができた。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	継続の理由を説明するため、具体的な補助効果を明確にすること。				
No.	114	部名	教育委員会	課名	教育政策課
補助金名称	私立高等学校振興助成金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	1,000		1,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	教育研究費を助成することにより教育の振興を図ることができた。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助金の目的、効果などから、補助制度を継続する理由を具体的に示すこと。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	115	部名	教育委員会	課名	学校教育課
補助金名称	私立幼稚園就園奨励費補助金				
予算額	令和2年度(千円)	令和元年度(千円)	増減額(千円)		
	0	63,340	△ 63,340		
自己評価	自己評価の内容				
廃止	2020年度以降は国の幼児教育無償化事業の実施により幼稚園就園奨励費奨励費補助事業は廃止となる。				
最終評価	最終評価の内容				
廃止	幼児教育無償化事業の実施により廃止とする。				
No.	116	部名	教育委員会	課名	学校教育課
補助金名称	遠距離通学児童通学費補助金				
予算額	令和2年度(千円)	令和元年度(千円)	増減額(千円)		
	137	206	△ 69		
自己評価	自己評価の内容				
継続	要綱に定めている該当住所の児童が在籍しており、保護者の負担軽減を図るためにも補助を継続していく。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助の継続は妥当と認められるが、補助対象経費を的確に把握し、補助金額を積算されたい。				
No.	117	部名	教育委員会	課名	学校教育課
補助金名称	遠距離通学生徒通学費補助金				
予算額	令和2年度(千円)	令和元年度(千円)	増減額(千円)		
	179	650	△ 471		
自己評価	自己評価の内容				
継続	要綱に定めている該当住所の生徒が在籍しており、保護者の負担軽減を図るためにも補助を継続していく。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助の継続は妥当と認められるが、補助対象経費を的確に把握し、補助金額を積算されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	118	部名	教育委員会	課名	社会教育課
補助金名称	町内公民館事業費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	2,228		2,228		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	町内公民館の活動を継続的に行うため、事務局の運営にかかわる補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	各公民館の運営の実態から、事業費補助から運営費の補助金に移行しているが、各公民館あたりの補助金額が少額のため、運営に有効に活用されているか不明で補助目的が曖昧になっている。 活動実態や補助事業者の要望等を踏まえ、補助金の目的を再度定義して、各町内公民館における本来の役割である生涯学習事業等に有効に活用できるよう制度の再構築をされたい。				
No.	119	部名	教育委員会	課名	社会教育課
補助金名称	町内公民館連合会補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	30		30		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	町内公民館連合会の活動を継続的に行うため、事務局の運営にかかわる補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	自治委員と公民館長を兼務する例が多く自治会活動と公民館活動が区分けできておらず、補助する目的、対象経費などを再定義する必要がある。				
No.	120	部名	教育委員会	課名	社会教育課
補助金名称	東山地区公民館事業費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	116		116		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	東山地区公民館の活動を継続的に行うため、事務局の運営にかかわる別府市からの補助は必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助事業として継続すべきと考えられるが、補助の対象となる業務内容やその程度などを的確に把握のうえ、適切な補助金額を積算されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	121	部名	教育委員会	課名	社会教育課
補助金名称	別府市子ども会育成会連合会事業補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	180		180		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	子どもたちが社会教育活動を体験することで子どもたちの感性を高め、地域の文化伝統の継承を図るためには、本事業の開催に伴う別府市からの補助金は必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助事業として継続すべきと考えられるが、補助の対象となる業務内容やその程度などを的確に把握のうえ、適切な補助金額を積算されたい。				
No.	122	部名	教育委員会	課名	社会教育課
補助金名称	別府市PTA連合会事業補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	360		360		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	別府市PTA連合会の活動を通じて、子育て・親育ての学ぶ場を提供し、研修の充実を図ることが出来る。また教育関係機関・団体と連携し、教育環境の改善に努めることが出来る。今後、これらの活動の充実を図るためにも別府市からの補助金は必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助事業として継続すべきと考えられるが、補助の対象となる業務内容やその程度などを的確に把握のうえ、適切な補助金額を積算されたい。				
No.	123	部名	教育委員会	課名	社会教育課
補助金名称	別府市地域婦人団体連合会事業補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	135		135		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	これまでの地域や家族が長年培った絆が年々薄れてきているが、この絆を深め、地域をアップさせるために、別府市婦人団体連合会の活動は重要である。これまでの婦人会組織は単独で行ってきたが、近年は色々の年代層と共同体制で事業を試みており、地域力の向上に努めている。これらの活動を支援するためにも、別府市からの補助金は必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助事業として継続すべきと考えられるが、補助の対象となる業務内容やその程度などを的確に把握のうえ、適切な補助金額を積算されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	124	部名	教育委員会	課名	社会教育課
補助金名称	文化財整備補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	0		70		△ 70
自己評価	自己評価の内容				
継続	文化財整備に対する補助金であり、市指定文化財以外は、国県の補助金事業であることが補助金交付の前提となっていることから貴重な文化財を後世に残すため、補助金は、必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	文化財を保存及び活用を図り、後世に承継を促す本補助金は継続が妥当と認められるが、補助の対象となる業務内容やその程度などを的確に把握のうえ、適切な補助金額を積算されたい。				
No.	125	部名	教育委員会	課名	スポーツ健康課
補助金名称	別府市学校保健会補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	217		218		△ 1
自己評価	自己評価の内容				
継続	学校・地域及び関係団体との連携のもと、学校保健・安全・食に関する諸問題について実践の成果を踏まえ協議し、健康で安全な生活を自ら実践する子どもの育成に努めることができた。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助対象経費と積算の根拠を明確にし、補助金額の精査をされたい。				
No.	126	部名	教育委員会	課名	スポーツ健康課
補助金名称	別府市中学校体育連盟補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	6,020		6,020		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	本補助事業により保護者負担の軽減を図ることができ、上位大会への出場資格を得た生徒全員の参加機会を保障する。また、上位大会への出場を目標とする運動部活動生徒の増加など部活動の活性化を図る。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	他の自治体も同様の制度が多数あることから、本市の助成内容が適正であるか比較・検討し、よりよい制度運営をされたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	127	部名	教育委員会	課名	スポーツ健康課
補助金名称	別府市体育協会補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	5,250		5,250		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	本協会は事業実施に要する経費に対し、別府市補助金以外の自主財源が少額であり、かつ捻出が困難なため、今後も市民体育の向上と振興の促進を図るためには別府市の継続した支援が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助対象経費と積算の根拠を明確にし、補助内容の見直しや対象団体の活動成果を検証し、補助金額の精査をされたい。				
No.	128	部名	教育委員会	課名	スポーツ健康課
補助金名称	県民体育大会出場費補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	6,565		5,800		765
自己評価	自己評価の内容				
継続	大分県民体育大会に出場する団体(選手)の費用負担の軽減や積極的に練習等活動を支援することにより競技力の向上を図り各種目での上位入賞を目指す。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	競技力の向上によるスポーツの振興を目的とする補助金の目的は適当と認められるが、補助金の必要性を具体的に示すとともに、執行において多額の不用額が発生する年度もあり、事業計画の精査を行い、適正な補助金額の積算をされたい。				
No.	129	部名	教育委員会	課名	スポーツ健康課
補助金名称	地区体育協会補助金				
予算額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	2,485		2,485		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	本協会は事業実施に要する経費に対し、別府市補助金以外の自主財源が少額であり、かつ捻出が困難なため、今後も各地区における地区住民体育の向上と振興の促進を図るためには別府市の継続した支援が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助対象経費と積算の根拠を明確にし、補助内容の見直しや対象団体の活動成果を検証し、補助金額の精査をされたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	130	部名	教育委員会	課名	スポーツ健康課
補助金名称	スポーツ振興費補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	4,200		4,200		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	九州大会以上の大会へ出場する選手の費用負担を行っている。大会へ出場するに当たって、交通費や宿泊費など支出が多く、その負担を少しでも軽減させることから補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	競技力の向上によるスポーツの振興を目的とする補助金の目的は適当と認められるが、補助対象経費と積算の根拠を明確にし、補助金額の精査をされたい。				
No.	131	部名	教育委員会	課名	スポーツ健康課
補助金名称	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	100		100		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	各総合型地域スポーツクラブ間の相互連絡と親睦及び各クラブの活動を活性化・発展させるため、今後も継続していく。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	発足時の経緯やクラブ運営の実態から、自立運営までの支援は必要と考えるが、終期を定め、対象団体が自主財源で運営ができるよう会員の増加、会費の増収や他団体からの協賛金・委託金の獲得など財源の確保を促されたい。				
No.	132	部名	消防	課名	消防本部
補助金名称	別府市少年婦人防火委員会補助金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	108		108		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	年間を通して、市民と消防のつどいや消防出初式等様々な活動を行なっていることにより少なくとも防火意識の向上や災害以外での市民の注目を集めることに一役買っていると思われる。 活動資金としては市の補助金をはじめ、外郭団体等からの助成金に頼っており、補助金の継続無くして事業の継続は難しいと考える。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	市民の防火意識を向上させる重要な事業であり、自己評価は適当であると認められるが、対象事業費や補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				

令和元年度 補助金の見直し

No.	133	部名	消防	課名	消防本部
補助金名称	大型自動車等免許取得助成金				
予 算 額	令和2年度(千円)		令和元年度(千円)		増減額(千円)
	300		300		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	<p>消防活動の遂行のために絶対的に必要となる消防車両の大型化等が進んでおり、運行のために必然的に大型・中型自動車の免許が必要となってくることに併せ、業務上必要な免許であるにも関わらず個人の負担額が高額となっている。</p> <p>取得のためには普通自動車免許取得からの経過年数等も関わってくるため、年度毎に人数は一定ではないが今後も継続して実施していきたい。</p>				
最終評価	最終評価の内容				
継続	<p>大型自動車等免許取得事業は業務遂行上に必要であるが、取得実績の向上につながるよう現行の助成制度も含め、より効果的かつ効率的な制度を他の自治体等も調査して検討すること。</p>				